



平成 22 年 11 月 1 日

報道各位

**日本CM界 最大のイベント**  
**2010 50th ACC CM FESTIVAL 贈賞式開催**  
**総務大臣賞/ACC グランプリは**

**テレビCM部門 梅の花/梅の花のシリーズ CM**

**ラジオCM部門 パナソニック/エコキュート「手紙」**

**日本ユニセフ協会/Happy Birthday for children**

**ME部門 キリンビール/「キリンフリー」ロウンチキャンペーン**

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称 ACC：東京都港区、理事長：永田圭司）では、今年で 50 回目を迎える ACC CM フェスティバル（正式名称：「2010 50th ACC CM FESTIVAL」）の贈賞式と記念パーティを 11 月 1 日（月）にザ・プリンス パークタワー東京で開催、1,000 名を超える受賞者・CM 関係者が集まり盛大に挙行了いたしました。

今年度、最高賞である総務大臣賞/ACC グランプリには、テレビ CM 部門で梅の花・梅の花シリーズ CM（「夜は夜の梅の花」「旅館みたいだね」「ちょうど間」）、ラジオ CM 部門でパナソニック・エコキュートの「手紙」、日本ユニセフ協会の「Happy Birthday for children」が輝き、平岡秀夫総務副大臣から総務大臣賞、各審査委員長から ACC グランプリが贈賞されました。また、ACC 創立 50 周年を機に新設された「マーケティング・エフェクティブネス（ME）部門」には、キリンビールの「キリンフリー」ロウンチキャンペーンが見事第 1 回のグランプリに輝き、平岡副大臣から総務大臣賞、審査委員長の秋元康氏から ACC グランプリが授与されました。昨年同様、ゴールド以上の贈賞はテレビ CM 部門では第 10 位から、ラジオ CM 部門は第 5 位からランキングで発表され、会場は大いに盛り上がりました。（※総務大臣賞/ACC グランプリ及びランキングについては別紙 1 をご参照ください）

この ACC CM フェスティバル贈賞式は、わが国 CM 界最大のイベントとして知られており、審査委員長の佐々木 宏氏、ラジオ CM 部門審査委員長の小田桐昭氏、ME 部門審査委員長の秋元康氏より、それぞれ審査報告が行われた後、全応募作品 2,280 点の中から選ばれた各賞の贈賞が行われました。総務大臣賞の贈賞の後、平岡副大臣より総務大臣祝辞が代読され、これを受け、受賞者を代表して株式会社梅の花・代表取締役社長の梅野重俊氏、パナソニック株式会社・常務役員の鍛冶舎 巧氏、財団法人日本ユニセフ協会・専務理事の早水 研氏、キリンビール株式会社・代表取締役社長の松沢幸一氏より受賞のご挨拶がありました。

また、「CM における優秀な演技」に対して贈られるベスト演技を受賞した大森南朋さん（サッポロビール/オフの贅沢）、北大路欣也さん（サントリー/BOSS 食後の余韻、大人の流儀、ソフトバンクモバイル/企業 CM など）、ダース・ベイダーさん（NTT ドコモ/ひとりごと、ひとつ。）には記念パーティでご登場いただき、会場を盛り上げていただきました。（※他の演技賞受賞者は別紙 2 をご参照ください）



記念パーティでは、CM界に顕著な貢献をした個人を顕彰する「鈴木 CM 賞」の贈賞があり、田井中邦彦氏（株式会社電通 顧問）に同賞が贈られました。

また、ACCでは本年新たに「クリエイターズ殿堂」を設立しました。その第1回に殿堂入りした故・杉山登志氏、堀井博次氏、故・三木鶏郎氏の3名を、記念パーティ席上で改めて発表しました。（※こちらのニュースリリースをご入用の際には、報道受付にお申し付けください）

今回入賞した作品は、今年度ACC CM フェスティバル入賞作品発表会として、11月11日（木）午後1時から東京・有楽町朝日ホール（マリオン）で開催される東京地区発表会を皮切りに、全国で上映・公開されます。（詳細は別紙ニュースリリースをご覧ください）

### 【全日本シーエム放送連盟（ACC）とACC CM FESTIVALについて】

社団法人全日本シーエム放送連盟（ACC）は、よりよいCMの提供に寄与し、国民生活の向上と放送文化の健全な発展に資することを目的に、広告主、広告会社、制作会社、放送会社の4団体のメンバーが集まって1960年に発足しました。ACC CM FESTIVALは、その翌年から開催され、わが国のテレビ・ラジオCMのコンクールとして最も規模が大きく、歴史が古く、最も権威のあるCMコンクールとして知られています。

今年記念すべき第50回目を迎えたACC CM FESTIVALでは、新たにマーケティング・エフェクティブネス部門を設置し、合計2,280点（内訳 テレビCM部門：1,520作品 ラジオCM部門：663作品 マーケティング・エフェクティブネス<ME>部門：97点）の応募があり、これらの中から厳正なる審査を経て総務大臣賞/ACCグランプリをはじめACCゴールド・シルバー・ブロンズ、特別賞、メダリスト等の各賞が選出されました。

以上

この件に関するお問い合わせ先

社団法人全日本シーエム放送連盟（ACC）

〒105-0004 東京都港区新橋3-1-11 長友ランディックビル5F

TEL：03-3500-3261 FAX：03-3500-3263

ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>

担当：江川・小原



※参考資料

【今年度 ACC CM FESTIVAL 概要】

名 称 : 「2010 50th ACC CM FESTIVAL」

本年、ACC が創立 50 周年を迎えたのを機に、テレビ CM、ラジオ CM に加え、新たにマーケティング・エフェクティブネス (ME) 部門を設置しました。全国から応募された 2,280 点 (内訳 テレビ CM 部門:1,520 作品 ラジオ CM 部門:663 作品 <ME>部門:97 点) の作品の中から、テレビ CM ベスト 10、ラジオ CM ベスト 5、ME 部門メダリスト 7 本が決まりました。11 月 1 日の贈賞式にて、3 部門の総務大臣賞/ACC グランプリをはじめ、テレビ CM ベスト 10・ラジオ CM ベスト 5 のランキングを発表します。

<テレビ CM・ラジオ CM 部門>

審査対象 : 2009 年 7 月 1 日から 2010 年 6 月 30 日までに日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたテレビ・ラジオ CM

地域審査会 : 8 月に全国 7 地区で審査

全国審査会 : テレビ CM 部門 9 月 15 日、29~30 日  
ラジオ CM 部門 9 月 17 日、27~28 日

贈賞式 : 11 月 1 日 ザ・プリンス パークタワー東京

入賞作品発表会 : 11 月 11 日東京・有楽町朝日ホールを皮切りに、全国 30 ヶ所にて順次開催されます。

入賞作品の内訳 :

テレビ (応募総数 1520 本)	テレビ CM ベスト 10	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
		ACC ゴールド	9
	ACC シルバー		10
	ACC ブロンズ		30
	ACC ファイナリスト		76
地域 ACC ファイナリスト		110	

ラジオ (応募総数 663 本)	ラジオ CM ベスト 5	総務大臣賞/ACC グランプリ	2
		ACC ゴールド	3
	ACC シルバー		12 (7 作品)
	ACC ブロンズ		13 (12 作品)
	ACC ファイナリスト		29
地域 ACC ファイナリスト		56	



【審査委員長】

佐々木 宏

※敬称略、順不同

<プロフィール>シンガタ クリエイティブ・ディレクター

慶應義塾大学卒。1977年電通入社。2003年「シンガタ」設立。主な仕事はSoftBankの全キャンペーン、サントリーBOSSを19年、ANA「ニューヨークへ行こう。」、FUJIFILM「お正月を写そう」、江崎グリコ「OTONA GLICO」、JR東海「そうだ、京都 行こう。」を10年、TOYOTA ECO PROJECTなど。ACC賞、TCC賞、ADC賞の各グランプリ、カンヌ広告祭金賞、朝日広告賞、電通賞、クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞など。

【テレビCM審査員】

小田桐 昭	堀井 博次	宮崎 晋	坂田 耕	秋山 晶	葛西 薫
岡 康道	多田 琢	澤本 嘉光	中治 信博	児島 令子	白土 謙二
箭内 道彦	黒須 美彦	福里 真一	古川 裕也	森本 千絵	谷山 雅計
中島 信也					

【特別審査員】

茂 木 健一郎 脳科学者

NHK「プロフェッショナル」キャスター。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。「クオリア」をキーワードとして脳と心の関係を研究。

天 野 祐 吉 コラムニスト

TBS「NEWS23」にコメンテーターとして出演。元「広告批評」編集長。朝日新聞に「CM 天気図」連載中。著書に「広告論講義」「ぼくのおじいちゃんのかお」など。

佐 藤 可 士 和 アートディレクター

主な仕事にユニクロ、楽天グループ、国立新美術館、NTT docomo「N703iD」、スマップ等。毎日デザイン賞、東京 ADC グランプリほか多数受賞。明治学院大学、多摩美術大学客員教授。

齋 藤 孝 明治大学文学部教授

TBS「情報7days ニュースキャスター」に出演。NHK 教育テレビ「にほんごであそぼ」総合指導など。著書に「声に出して読みたい日本語」等、多数。

【ラジオCM審査委員長】小田桐 昭

<プロフィール>オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン 名誉会長

CMプランナーの第一人者。「外資から日本の広告を変える」と電通を経て、オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパンへ。名誉会長。主な仕事：東京海上火災保険 / ビリヤード・危険がいっぱい、国鉄フルムーン、松下電器産業 / トランザム 高見山。

【ラジオCM審査員】

林屋 創一	福本 ゆみ	中山 佐知子	井田 万樹子	山田 美保子	中村 聖子
岡部 将彦	福島 和人	直川 隆久	橋本 祐子	山本 高史	



<ME 部門>

審査対象：CM を中心に戦略的かつ効果的な広告活動を展開した企画で、2010 年 6 月 30 日以前に社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において、テレビ CM ないしラジオ CM が初放送されたもの（2009 年 6 月末以前に終了している企画は応募不可）。

審査会：9 月 16 日、10 月 5 日

贈賞式：11 月 1 日 ザ・プリンス パークタワー東京

入賞作品の内訳：

マーケティング・	総務大臣賞/A C C グランプリ	1
エフェクティブネス	メダリスト（特別賞 1 本を含む）	6
（応募総数 97 本）	ファイナリスト	7

入賞作品発表会：11 月 11 日東京・有楽町朝日ホール

【マーケティング・エフェクティブネス部門審査委員長】

※敬称略、順不同

秋元 康

<プロフィール>作詞家・京都造形芸術大学副学長・日本放送作家協会理事長  
高校時代から放送作家として頭角を現し、数々の番組構成を手がける。83 年以降、作詞家として、美空ひばり『川の流れるように』をはじめ、数々のヒット曲を生む。ジェロ『海雪』で日本作詩大賞受賞。09 年、日本レコード大賞・特別賞を AKB48 とともに受賞。TV 番組『とんねるずのみなさんのおかげでした』などの企画構成、映画の企画・原作（『着信アリ』シリーズなど）、「AKB48」「SKE48」「SDN48」の総合プロデューサーも務める。著書に小説『象の背中』ほか多数。本年 3 月、渡辺晋賞を受賞。

【マーケティング・エフェクティブネス部門審査員】

池永 忠裕（電通プロモーションデザイン室長）  
大谷 研一（博報堂顧問／博報堂アーキテクト 代表取締役社長）  
岡野 宏（キヤノンマーケティングジャパン 宣伝制作部長）  
岡本 善勝（資生堂 宣伝制作部プロデュース室長）  
恩蔵 直人（早稲田大学商学学術院長 商学部長）  
早乙女 治（ADK エグゼクティブクリエイティブディレクター）  
島崎 紘而（味の素 理事 広告部制作企画グループ長）  
白井 博志（博報堂ソリューションビジネス局長）  
田中 里沙（宣伝会議 取締役 編集室長）  
津山 克則（パナソニック マーケティング本部グループマネージャー）  
三浦 武彦（電通 執行役員 エグゼクティブクリエイティブディレクター）  
八塩 圭子（学習院大学 経済学部 経営学科 特別客員教授）  
八嶋 実（ADK 第一 A P 局 シニアアカウントプランナー／局長）



## 【受賞理由 総務大臣賞／ACC グランプリ】

**テレビ CM 部門** 広告主：梅の花  
商品名／タイトル：梅の花／「夜は夜の梅の花」「旅館みたいだね」  
「ちょうど間」

審査委員長 佐々木 宏 氏  
受賞理由 「梅の花」に私は一度、青山のベルコモンズのお店に行ったことがあります。一人で。湯葉料理を注文した覚えがあります。確かに、♪～安い居酒屋と高級割烹のちょうど間だな～と思ったし、♪～夜はどうなの？どうだと思いの？～と思ったし、♪～旅館みたいだね、旅館じゃないんですよ～、とも思った。さくらと一郎 と、ヒデとロザンナの、ちょうど間くらいの適度に高級すぎないタレントさんが歌う、安っぽすぎない CM ソングが、心地よく、並み居る強豪揃いの中で、あれよあれよ。えー、梅の花がグランプリって、いいんですか、という審査委員の自問自答的葛藤もありつつ、いいんじゃないだろうか!! の声が、やがて、大勢に。こんどまた、あらためて行こうかなと思います。

**ラジオ CM 部門** 広告主：パナソニック株式会社  
商品名／タイトル：エコキュート「手紙」

広告主：日本ユニセフ協会  
商品名／タイトル：Happy Birthday for children／  
「布袋寅泰 篇」「矢沢永吉 篇」

審査委員長 小田桐 昭 氏  
受賞理由 「パナソニック・エコキュート」は、なんともとぼけた口調の中に、ひとり暮らしの老人の孤独や、かわいい欲望が垣間見え、秀でた人間描写になっている。「語る」という、人間の声の持つ、人を惹きつける根元的な「ラジオならではの力」を示している。「ユニセフ」はキャンペーンの中心にラジオがあって、ケータイと連動して多くの人々を動かした。定型を破り、新しい「ラジオの力」を示したことに対して、企画部門からもうひとつのグランプリを生むことになった。

**ME 部門** 広告主：麒麟ビール株式会社  
キャンペーン名：「麒麟フリー」ロウンチキャンペーン  
(アルコール0.00%市場創造)

審査委員長 秋元 康 氏  
受賞理由 麒麟ビール(株)の『麒麟フリー』ロウンチキャンペーン(アルコール0.00%市場創造)は、新しい商品による市場の開発の成功を評価した。1を2にするのではなく、0を1にする難しさは、誰もが知っている。今までの低アルコールビールとは、全く、異なる世界観を消費者に巧くアピールできたと思う。

以上